

政策目標	3	心豊かな人を育み、生涯にわたって学習できるまち
施策分野	1	教育環境の整備

課（係）名	教育総務課		
作成年度	平成24年度	（更新日）	平成24年6月29日

目的	管理指標	実績 (H23年度末)	目標	期限	左記指標の過去の推移			
					(H21年度末)	(H22年度末)	備考	
基本計画	児童・生徒が学習しやすいまちを目指します。	学校施設の耐震化率	82.4%	100%	27年度	75.0%	77.8%	
		教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数	11.8人	3.6人	27年度	12.2人	12.0人	
目的を達成するための具体的な方策	01 総合的教育行政の推進	小中学校施設管理のあり方検討会の開催	2回/年	延べ回数15回	27年度	—	3回/年	
	02 学校施設の耐震化	学校施設の耐震化率	82.4%	100%	27年度	75.0%	77.8%	
	03 学校給食のあり方の検討	小中学校施設管理のあり方検討会の開催	2回/年	延べ回数15回	27年度	—	3回/年	
	04 情報教育環境整備の充実	教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数	11.8人	3.6人	27年度	12.2人	12.0人	

市民との協働方策		《平成23年度末時点の活動状況》	《平成24年度の改善のポイントや重点方向等》
	01 保護者と地域の方たちとの協働による教育環境の整備	全小中学校で行ったPTA奉仕作業に伊東市公共施設の里親制度（アダプトシステム）を取り入れ、作業の円滑化を図った。	PTA奉仕作業だけではなく、民間からのボランティア等も取り入れていく。

<p>《実績評価》</p> <p>(1) 基本計画指標の達成度（総務係）</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐震化については北中学校旧棟は23年度旧棟から新棟への機能移転工事が完了し、旧棟については使用停止とした。南中学校校舎は平成23・24年度2か年で耐震補強工事を施行中。富戸・池小学校屋内運動場は23年度補強計画・実施設計委託を実施し、平成24年度耐震補強工事予定。 教育用コンピュータについては小・中学校15校全てで5年間の長期継続契約で実施しており、更新時期に合わせて整備をする。 <p>(2) 「目的を達成するための具体的な方策」の達成度</p> <p>01総合的教育行政の推進・03学校給食のあり方の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者、学校関係者等で構成する「小中学校施設管理のあり方検討会」を平成22年度から引き続き開催した。会議では、①学校施設の耐震化に向けた今後の展開と②給食施設の整備に係る試算と整備方法をテーマに、意見交換を図った。 学校給食のあり方の検討を含めた重要施策を担当する部署を新たに設置（平成24年度から）することで、更なる検討に向けた基盤体制を構築した。
--

方策コード		手段（4桁コード）内容	管理指標	実績 (H23年度末)	目標	期限	《平成24年度の改善のポイントや重点方向等》
2桁	4桁						
01		総合的教育行政の推進					02学校施設の耐震化 ・南中校舎、富戸・池小学校屋内運動場の耐震化については今年度までに耐震工事を完了する。また、西小学校屋内運動場については今年度業者に素案を依頼し、提出された案の中から今後の設計等を進めていく。
	0101	学校施設管理に関する定期的意見交換の実施	検討会開催回数	2回/年	延べ回数15回	27年度	
	0102	学校施設の整備	学校施設工事要望件数	91件	0件	27年度	
02		学校施設の耐震化					
	0201	要耐震化施設の耐震化（小学校）	耐震化未実施棟数	3棟	0棟	27年度	
	0202	要耐震化施設の耐震化（中学校）	耐震化未実施棟数	3棟	0棟	27年度	
03		学校給食のあり方の検討					03学校給食のあり方の検討 ・中学校給食のみではなく、老朽化した小学校給食も含めた給食全体を見直し、小中学校の再編も視野に入れながら、実施に向けて調査、検討をしていく。 ・平成24年度は、22年度と23年度に実施した「小中学校施設管理のあり方検討会」において示した施設整備に関する経費試算の更新を進めるとともに、将来における給食施設運営の理想ケースを洗い出し、試算を進めていく。
	0301	新システムの調査研究	検討会開催回数	2回/年	延べ回数15回	27年度	
	0302	運営方法の研究	学校給食運営委員会の開催	委員会の発足	年1回以上開催	27年度	
	0303	安全でおいしい学校給食の提供	給食食材の放射性物質検査の実施	簡易測定器による測定の実施（給食実施校全校）	継続実施	27年度	
	0304	給食未実施校での弁当の提供	注文数	8,977	適正処理	27年度	
04		情報教育環境整備の充実					04情報教育環境整備の充実 ・小学校では、現在2人1台の割合で整備されているパソコン教室の教育用パソコンを1人1台とするため、小学校5校（東・西・大池・八幡野・南小）については平成24年9月から1年間の再リースを実施し、残りの小学校5校（川奈・宇佐美・富戸・池・旭小）のリース満了期間である平成25年9月に全校実施できるように整備内容の見直し等の検討を進めていく。（中学校のパソコン教室は1人1台整備済み） ・校内LAN整備については、平成25年度の実施を目指し、国の交付金（補助）制度活用に向け、国県へ要望を続けていく。
	0401	教育用パソコン整備	パソコン台数	440台	1,420台	27年度	
	0402	校内LAN整備	整備済校数	5校	15校	27年度	

政策目標	3	心豊かな人を育み、生涯にわたって学習できるまち
施策分野	2	教育の充実（幼稚園）

課（係）名	幼児教育課（幼稚園）	
作成年度	平成24年度（更新日）	平成24年6月26日

目的	管理指標	実績 (H23年度末)	目標	期限	左記指標の過去の推移			
					(H21年度末)	(H22年度末)	備考	
基本計画	どの子ども夢を持ち、のびのびと活動する園のあるまちを目指します。	幼稚園が楽しいと思う子どもの割合	98.2%	99%	27年度	97.9%	98.0%	H21年度から外部を含めた学校評価を実施
目的を達成するための具体的な方策	01 幼稚園教育の充実	教育課程の編成等小学校と連携している園数	13園	14園	27年度	13園	13園	県で実施している「幼児教育に係る実態調査」による
	02 保護者と共に子どもの育ちを支える	子育て支援事業を実施している幼稚園の割合	57.1%	100.0%	27年度	50.0%	50.0%	
	03 集団保育を実施するための環境整備	集団保育を行い難い小規模園数	4園	3園	27年度	4園	4園	伊東・湯川・富戸・池
	04 子育てニーズに応じた幼保連携の推進	教諭・保育士資格の併有率	68.2%	80.0%	27年度	—	—	

市民との協働方策	《平成23年度末時点の活動状況》		《平成24年度の改善のポイントや重点方向等》
	01 地域行事、園行事を通しての地域住民との相互交流	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の祭典等を通じての交流実施園：6園 ・老人クラブ、老人施設等異世代交流実施園：7園 	地域交流を推進できるような園行事を積極的に教育課程の中に組み込むよう検討する。中高生との異世代交流を推進する。

《実績評価》	
(1) 基本計画指標の達成度	
・平成23年12月10日から12月14日までに実施した平成23年度伊東市立幼稚園評価アンケートの結果、「おさんは幼稚園に行くのを楽しみにしていますか」の問いに対し、「はい」と答えた保護者が全園平均で98.2%と、平成22年度末よりも0.2ポイント増加した。	
(2) 「目的を達成するための具体的な方策」の達成度	
【01幼稚園教育の充実】連携園数に変化はないが、平成23年度において保育園、幼稚園、小学校の教諭により「伊東市保幼小連携プログラム」を策定をし、更なる連携の強化を図った。	
【02保護者と共に子どもの育ちを支える】子育て支援事業実施は、57.1%と平成22年度末より増加している。これは、外部人材を講師とした子育て講演会の実施を積極的に行った結果である。	
【03集団保育を実施するための環境整備】指標園数に変化はないが、伊東幼稚園と湯川分園と合同保育や、富戸幼稚園と池幼稚園の相互訪問を積極的に行っている。	
【04子育てニーズに応じた幼保連携の推進】教諭・保育士資格併有率は、68.2%と増加し、今後も幼稚園教諭の採用は教諭免許と保育士資格の両方を条件としていくため併有率は増加すると見込まれる。	

方策コード		手段（4桁コード）内容	管理指標	実績 (H23年度末)	目標	期限	《平成24年度の改善のポイントや重点方向等》
2桁	4桁						
01		幼稚園教育の充実					01 幼稚園教育の充実 【重点方向】 ・平成23年度に策定した「伊東市保幼小連携プログラム」を効果的に活用し、保幼小の交流、連携を実施する。 【改善のポイント】 ・平成24年度は新規採用教諭が4人いる。配属園では日常の保育実践のほか、週10時間以上、年間300時間以上の園内研修を実施する。また、年間25日以上の園外研修を行い、実践的指導力と使命感を養う。
	0101	地域の特色を生かした保育計画の策定	保育計画策定園数	全園	全園	24年度	
	0102	保育園・小学校との交流活動の推進	幼・保・小の交流実施園	12園	14園	27年度	
	0103	幼児教育向上のための研修会への参加等	研修会参加者数	教諭全員	教諭全員	24年度	
	0104	幼稚園の相互訪問の実施	幼稚園の相互訪問実施回数	14回	14回	24年度	
02		保護者と共に子どもの育ちを支える					02 保護者と共に子どもの育ちを支える 【改善のポイント】 ・「新しい公共」の視点に立ち、保護者、ボランティア、地域と協働できる事業、活動を推進する。
	0201	幼稚園を拠点とする子育て支援の推進	子育て支援事業の実施園	8園	14園	27年度	
	0202	保護者の保育参加の促進	保護者の保育参加日数	75日	98日	27年度	
	0203	PTAボランティア活動の促進	活動園数	9園	14園	27年度	
	0204	要耐震化施設の耐震化	未実施施設数	2園	0園	27年度	
03		集団保育を実施するための環境整備					03 集団保育を実施するための環境整備 【重点方向】 ・平成20年度に答申を受けた「伊東市立幼稚園のあり方について～市立幼稚園適正配置計画」に基づき、具体的なアクションに向けての検討を重点的に実施する。
	0301	3歳児保育の実施園数	3歳児保育の充実	14園	14園	24年度	
	0302	本園・分園の交流の推進	本園・分園合同保育日数	14回	6回	27年度	
	0303	小規模園のあり方の検討	検討会の開催回数	0回	3回	27年度	
04		子育てニーズに応じた幼保連携の推進					04 子育てニーズに応じた幼保連携の推進 【改善のポイント】 ・幼稚園、保育園間での職員相互交流を研修の中に位置づけ、研修に係る内規を定め、研修を実施する。
	0401	幼保職員交流の推進	幼保連携に関する研修会の開催数	1回	2回	27年度	
	0402	幼稚園での預かり保育の実施	実施園数	0園	3園	27年度	

政策目標	3	心豊かな人を育み、生涯にわたって学習できるまち
施策分野	3	教育の充実（小・中学校）

課（係）名	◎教育指導課 ○教育総務課
作成年度	平成24年度（更新日） 平成24年8月31日

目的	管理指標	実績 (H23年度末)	目標	期限	左記指標の過去の推移			
					(H21年度末)	(H22年度末)	備考	
基本計画	将来に夢を持ち、どの子も生き生きと活動する学校のあるまちを目指します。	学校が楽しいと思う子どもの割合	<小学校> 91.6% <中学校> 84.7%	<小学校> 95% <中学校> 90%	27年度		88.8%	※平成22年度が初年度調査。平成22年度の結果を踏まえ目標を修正
目的を達成するための具体的な方策	01 基礎学力の向上	授業が分かると思う子どもの割合	<小学校> 87.4% <中学校> 75.6%	<小学校> 90% <中学校> 80%	27年度			※平成23年度が初年度調査
	02 豊かな人間性・社会性の育成	近所や知り合いの人にあいさつをしている子どもの割合	<小学校> 88.0% <中学校> 88.2%	<小学校> 95% <中学校> 95%	27年度			
	03 健康な身体と基本的な生活習慣づくりの推進	朝食を摂取している子どもの割合	91.0%	100%	27年度			
	04 地域連携・地域交流の推進	地域の行事や活動に積極的に参加している子どもの割合	<小学校> 76.3%	<小学校> 80%	27年度			
			<中学校> 64.2%	<中学校> 70%				
	05 教育的支援体制の充実	教育的支援が必要な子どもに必要な支援の提供	適正処理	適正処理	27年度			

市民との協働方策		《平成23年度末時点の活動状況》	平成24年度の改善のポイントや重点方向等》
	01 学校行事への積極的な参加	運動会、文化祭等学校行事への参加 授業参観、オープンスクールの実施 青少年育成会との連携	学校行事やPTA活動等において、保護者や地域の方に積極的に情報を発信し、協働して教育の充実を図る。

《実績評価》

(1) 基本計画指標の達成度

平成23年度の実績に基づき設定した目的値に向けて、期限までに計画的に達成度を上げていく。
基本計画管理指標の平成23年度末実績は、平成22年度末実績から大幅に上昇している。

(2) 「目的を達成するための具体的な方策」の達成度

- ・校長会と連携し、伊東市の教育の充実を図るプランを策定し、基礎学力の向上に向けた方策を定めるなど、目的達成への具体的な準備が進んだ。
- ・「健やかな心と体の育成」「特別活動」「道徳教育」「かかわり合いの充実」等、目標に沿ったテーマについて市の研究指定校・園を指定し、研究を深めている。
- ・「伊東市保幼小連携プログラム」を策定し、保幼小の具体的な連携のあり方についての視点を定めた。今後、具体的な実践を通し充実を図りたい。
- ・通級指導教室の活用児童数の増加など、適切な指導を受けられる児童が増加した。平成24年度は支援員を増員し、特別支援教育の充実に向けての体制が向上した。

方策コード		手段（4桁コード）内容	管理指標	実績 (H23年度末)	目標	期限	《平成24年度の改善のポイントや重点方向等》
2桁	4桁						
01 基礎学力の向上							
0101	教職員の資質向上	市教育奨励賞応募者数	14人/年	15人/年	24年度		
			信頼できる先生がいると答えた子どもの割合	<小学校> 88.7% <中学校> 70.9%	<小学校> 95% <中学校> 80%		27年度
0102	指導主事の学校訪問	訪問等による指導	適正処理	適正処理	24年度		
0103	教育研究の推進	教育研究の成果の発表・共有化	適正処理	適正処理	24年度		
0104	外国語活動の推進	外国人や外国人の文化に興味をもち、積極的に接している子どもの割合	<小学校> 61.5%	<小学校> 70%	27年度		
			<中学校> 54.8%	<中学校> 60%	27年度		
0105	読書好きな子どもの育成	1週間に1回以上読書している子どもの割合 (漫画・雑誌・教科書を除く)	<小学校> 72.6%	<小学校> 80%	27年度		
			<中学校> 63.6%	<中学校> 70%	27年度		

02 豊かな人間性・社会性の育成					
0201 あいさつの奨励	近所や知り合いの人にあいさつをしている子どもの割合	<小学校> 88.0%	<小学校> 95%	27年度	
		<中学校> 88.2%	<中学校> 95%	27年度	
0202 道徳教育の充実	困っている人には手助けをすると答えた子どもの割合	<小学校> 87.1%	<小学校> 95%	27年度	
		<中学校> 83.2%	<中学校> 90%	27年度	
0203 環境教育の充実	環境を守ることの大切さを理解した行動をしている子どもの割合	<小学校> 84.3%	<小学校> 90%	27年度	
		<中学校> 80.0%	<中学校> 90%	27年度	
03 健康な身体と基本的な生活習慣づくりの推進					
0301 安定した生活習慣づくりの推進	朝食を摂取している子どもの割合	91%	100%	27年度	
0302 園児児童生徒の健康診断・各種検診の実施	診断結果による健康指導（市主催による個別相談会の開催）	生活習慣病予防個別相談会の開催	継続開催	27年度	
0303 体力・運動能力の向上	新体力テスト（8種目）結果が県平均以上である種目数	<小6> 7種目/8種目	<小6> 8種目/8種目	27年度	
		<中3> 2種目/8種目	<中3> 8種目/8種目	27年度	
04 地域連携・地域交流の推進					
0401 防災教育の実施	地域と学校との連携による防災訓練の実施	適正処理	適正処理	24年度	
0402 地域との積極的なかかわり	地域の行事や活動に積極的に参加している子どもの割合	<小学校> 76.3%	<小学校> 80%	27年度	
		<中学校> 64.2%	<中学校> 70%	27年度	
0403 学校評価及び学校評議員制度の活用	P T Aや地域住民の意見や評価の学校運営への反映	適正処理	適正処理	24年度	
0404 子供達の安全安心のための地域協力	地域住民のパトロール、パンダの家等	適正処理	適正処理	24年度	

05 教育的支援体制の充実					
0501 小学校低学年学級支援の充実	低学年のクラスが複数ある小学校への支援者の配置	1人	7人（複数クラス該当校）	27年度	※小学校1年生については、学習指導の他きめ細やかな生活指導も必要である。スムーズな小学校生活を送るための支援を今後充実させていきたい。 ※特別支援学校、特別支援学級程度ではないが、通常学級の中で特別な支援が必要な児童生徒に対する支援を今後充実させていきたい。
0502 特別支援教育支援の充実	支援員ひとり当たりが支援する通常学級在籍特別支援対象児童生徒数	28.5人	5人	27年度	
0503 適応指導教室の充実	通級により改善し高校進学及び就職に繋がった割合	62.5%	70%	27年度	
0504 教育相談室の充実	相談支援事業の周知	適正処理	適正処理	24年度	
0505 通級指導教室の充実	通級指導教室（ことばの教室）の通級により改善し退級した園児児童の割合	45.8%	60%	27年度	

政策目標	3	心豊かな人を育み、生涯にわたって学習できるまち
施策分野	4	生涯学習活動の推進

課（係）名	生涯学習課	
作成年度	平成24年度（更新日）	平成24年6月22日

目的	管理指標	実績 (H23年度末)	目標	期限	左記指標の過去の推移			
					(H21年度末)	(H22年度末)	備考	
基本計画	市民が生涯を通じていつでもどこでも快適に学習できるまちを目指します。	市民1人当たりの生涯学習活動の参加回数	1.91回	2.59回	27年度	2.09回	1.97回	各施設の生涯学習した人間の合計を年度末人口で除した数値
		市民1人当たり図書貸出し冊数	3.10冊	4.50冊	27年度	2.86冊	2.81冊	227,004冊（貸出総数）／73,237人（人口）
目的を達成するための具体的な方策	01 生涯学習機会の提供	中央会館・ひぐらし会館に登録している団体の数	653団体	750団体	27年度	554団体	588団体	
	02 市民の自主的生涯学習活動の推進	市民1人当たりの生涯学習活動の参加回数	1.91回	2.59回	27年度	2.09回	1.97回	
	03 図書館機能の充実	市民1人当たり図書貸出し冊数	3.10冊	4.50冊	27年度	2.86冊	2.81冊	

市民との協働方策	《平成23年度末時点の活動状況》		《平成24年度の改善のポイントや重点方向等》
	01 自主的な生涯学習活動の広がり	平成23年度は東日本大震災に伴う、夜間貸出中止等により各施設の貸出実績は減少したが、図書館の貸出冊数が約2万冊増加するなど、市民の生涯学習活動は引き続き活発なことから、市民大学を八幡野コミュニティセンターで開催するなどの機会の提供や情報発信・提供に努め、市民の自主的な活動を一層促進していく。	社会状況の変化や市民のニーズの多様化に対応した講座等を開催することにより、市民の自主的な活動を促進する。

《実績評価》	
(1) 基本計画指標の達成度	
・市民大学、いでゆ大学等の事業展開により、広く市民に生涯学習機会を提供したことで、受講生による自主サークルの創設が図られた。	
(2) 「目的を達成するための具体的な方策」の達成度	
・「まなびのとびら」を市民等に配布することにより、生涯学習機会の提供、活動の推進を図った。	
・図書館においては、図書資料・情報収集の充実を図ったことにより図書等の貸出冊数が増加した。	

方策コード		手段（4桁コード）内容	管理指標	実績 (H23年度末)	目標	期限	《平成24年度の改善のポイントや重点方向等》
2桁	4桁						
01		生涯学習機会の提供					01生涯学習機会の提供 ・生涯に渡って、いつでも自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価されるような社会を築くことは行政のみの働きだけではなく、市民による自主的な生涯学習活動の広がりがあって初めて達成することが可能となることから、市民の自主的活動の推進に寄与していく。
	0101	学習施設貸出備品の整備	生涯学習センター貸出備品数	17品目	30品目	27年度	
	0102	学習情報の収集・発信	学びのとびらによる活動状況を掲載する団体数	265団体	400団体	27年度	
	0103	生涯学習指導者登録数	市ホームページに公開している生涯学習指導者の登録数	111人	200人	27年度	
	0104	生涯学習団体の情報提供	広報いとう等で生涯学習団体の市民に情報提供した件数	18件	72件	27年度	
02		市民の自主的生涯学習活動の推進					
	0201	市民向け学習講座・教室の開催	市民大学・いでゆ大学延べ参加者数	1,055人	1,300人	27年度	
	0202	生涯学習団体への支援	生涯学習活動を積極的に行う団体数	238団体	280団体	27年度	
	0203	学習成果を活かした地域における学習交流の推進	3地域生涯学習センターと4コミュニティセンターでの自主的サークルの使用回数	5,563回	6,500回	27年度	
	0204	家庭教育に関する学習機会と内容の充実	明るい家庭づくり・豊かなまちづくりを目的に幼稚園・小学校で実施されている家庭教育学級の実施校数	8校	10校	27年度	
03		図書館機能の充実					03図書館機能の充実 ・図書館においては図書資料の整備のほかに平成23年度にインターネット検索端末を設置し、広く市民に開放するとともに、他市の図書館との相互貸出の利用など、今後も広く市民への情報提供の向上に努める。
	0301	図書資料の充実	図書館蔵書冊数	178,518冊	190,000冊	27年度	
	0302	図書貸出冊数	図書貸出冊数	227,237冊	315,000冊	27年度	
	0303	インターネットによる図書情報の発信	インターネット検索回数	211,135回	300,000回	27年度	
	0304	移動図書館車の巡回	移動図書館車の貸出冊数	23,887冊	28,000冊	27年度	

政策目標	3	心豊かな人を育み、生涯にわたって学習できるまち
施策分野	5	市民スポーツ活動の支援

課（係）名	生涯学習課	
作成年度	平成24年度（更新日）	平成24年6月20日

目的	管理指標	実績 (H23年度末)	目標	期限	左記指標の過去の推移			
					(H21年度末)	(H22年度末)	備考	
基本計画	市民が気軽に快適にスポーツができるまちを目指します。	スポーツ施設の利用状況	315,966人	330,000人	27年度	312,528人	315,251人	社会体育施設、学校施設
目的を達成するための具体的な方策	01 スポーツ指導者の養成	指導者数	92人	118人	27年度	88人	104人	スポーツ推進委員、スポーツ少年団指導者
	02 スポーツ大会の実施	回数、参加人数	6回 10,976人	7回 11,270人	27年度	6回 10,494人	6回 11,073人	按針祭協賛スポーツ祭、伊東市スポーツ祭、リレーカーニバル、オリンピックマラソン、伊東駅伝、地域体育振興会スポーツ大会
	03 体育施設の整備	既存施設改修計画に基づく改修率	計画策定中	計画に基づく施設改修率	27年度	—	—	老朽化施設の改修、総合体育館の新設・建替、400Mトラックとフィールドを備えた総合運動場の整備、県営施設等の誘致

市民との協働方策	《平成23年度末時点の活動状況》		《平成24年度の改善のポイントや重点方向等》	
	01 スポーツ活動への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員による各種健康教室等の講師としての活動。 ・スポーツ少年団活動。 ・各大会運営への地域体育振興会、市民、高校生ボランティアの参加。 ・地域体育振興会主催の地域体育大会の開催。 ・伊東市振興公社主催のウェルネス教室等スポーツ教室の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・マラソン、駅伝大会の規模の拡大は、会場、交通規制等の関係で難しいため、昨年の反省から内容の充実、円滑な運営を図る。 ・各種スポーツ大会の周知に努める。 ・スポーツ大会への高校生、中学生等の参加拡大を図る。 ・しずおかスポーツフェスティバルへ参加する。 	

《実績評価》
(1) 基本計画指標の達成度
・目標には及ばなかったものの一定の実績は得られた。近年の健康志向の高まりから、スポーツに対する関心も高まっており、更なる生涯スポーツ人口の拡大に努めたい。

(2) 「目的を達成するための具体的な方策」の達成度

【01スポーツ指導者の養成】スポーツ推進委員、スポーツ少年団指導者等に指導者研修等を斡旋した。

【02スポーツ大会の実施】各種競技スポーツ大会の実施については、体育協会等関係団体と連携し実施した。

【03体育施設の整備】既存施設整備は、修繕等により対応した。しかしながら、施設本体が老朽化していることから、施設新設・建替等が求められているが、建設等に向けた調査・研究については、具体的に進んでいないのが実情である。

方策コード 2桁 4桁	手段（4桁コード）内容	管理指標	実績 (H23年度末)	目標	期限	《平成24年度の改善のポイントや重点方向等》
01 スポーツ指導者の養成						
0101	スポーツ推進委員の養成	スポーツ推進委員数	15人	18人	27年度	01スポーツ指導者の養成 ・スポーツ推進委員は、就労者であるため、委員としての活動と就労とが支障ないよう配慮し支援する。 ・少子化の中であるが、スポーツ少年団の活動をPRするなどして団員確保等支援していきたい。 ・スポーツ推進委員やスポーツ少年団指導者は、専門的、技術的指導や助言を行うことから県やスポーツ団体が行う指導者研修会への参加促進に努める。
0102	スポーツ少年団指導者の養成	スポーツ少年団指導者数	77人	100人	27年度	
0103	スポーツ指導者研修会への参加促進	研修会参加者数	56人	100人	27年度	
02 スポーツ大会の実施						
0201	按針祭協賛スポーツ祭	参加者数	4,245人	4,350人	27年度	02スポーツ大会の実施 ・各スポーツ大会等について、会場確保が競合しないよう、適切に調整していく。 ・リレーカーニバルについては、更なる参加者の増員を図るため、学校等に対し働き掛けをする。 ・オレンジビーチマラソンについては、会場、交通規制等の関係で規模の拡大は難しいため、内容の充実や円滑な運営に努めたい。 ・伊東駅伝については、交通規制の面から厳しい指摘を受けているため、コース変更等運営の改善を図りたい。 ・地域スポーツの主体となる、体育振興会の設立を地域に働き掛ける。
0202	伊東市スポーツ祭	参加者数	3,120人	3,200人	27年度	
0203	リレーカーニバル	参加者数	560人	600人	27年度	
0204	オレンジビーチマラソン	参加者数	2,616人	2,620人	27年度	
0205	伊東駅伝	参加者数	403人	450人	27年度	
0206	地域体育振興会スポーツ大会	参加者数	32人	50人	27年度	
0207	地域スポーツクラブの育成	クラブ数	1団体	2団体	27年度	
03 体育施設の整備						
0301	既存施設の修繕、改修	既存施設改修計画に基づく改修率	計画策定中	計画に基づく施設改修率	27年度	03体育施設の整備 ・体育施設整備については、(財)伊東市振興公社等と連絡を密にし、適正な維持管理、修繕に努める。また、総合体育館等の施設の新規建設への方策を講じたい。県営施設の誘致を働き掛ける。
0302	総合体育館の建設に向けた調査・研究	総合体育館の建設に向けた調査・研究回数	0回	建設費用・候補地の調査・研究3回	27年度	

政策目標	3	心豊かな人を育み、生涯にわたって学習できるまち
施策分野	6	歴史・芸術文化の振興

課（係）名	生涯学習課	
作成年度	平成24年度（更新日）	平成24年6月22日

目的	管理指標	実績 (H23年度末)	目標	期限	左記指標の過去の推移			
					(H21年度末)	(H22年度末)	備考	
基本計画	市民が気軽に歴史、芸術文化に触れることができるまちを目指します。	歴史文化に触れた人数	12,699人	15,850人	27年度	10,567人	11,278人	
		芸術文化に触れた人数 ・(芸術祭への出演・出品人数) ・(芸術祭の観客人数)	2,083人 11,729人	2,200人 12,000人	27年度	1,238人 8,633人	1,910人 11,304人	総合計画の目標値を実績が上回ったため新たな目標値を設定
目的を達成するための具体的な方策	01 歴史、芸術文化に触れる機会の創出	市内文化施設及び市芸術祭の入場者等	26,511人	30,050人	27年度	20,560人	24,636人	
		文化イベントの誘致件数	1件	2件	27年度	0件	0件	
	02 歴史文化情報の発信	講演会等の参加人数	400人	850人	27年度	399人	165人	
		文化財保護啓発イベントの実施件数	1件	2件	27年度	0件	0件	
		インターネットによる文化情報のアクセス数	2,560回	4,000回	27年度	3,438回	3,196回	
03 芸術文化活動の支援	伊豆美術祭・後継者育成・文化イベントへの支援件数	40件	65件	27年度	45件	49件		

市民との協働方策	01 文化や文化財を愛護する市民や市民団体との連携	《平成23年度末時点の活動状況》	《平成24年度の改善のポイントや重点方向等》
		伝統文化継承のため、子どもを中心とした育成事業への補助制度を創設した。芸術文化にふれ、直接参加する機会を高めることを目的に芸術祭を開催市内文化団体の育成を目的に、文化協会と密接に連携をとっている。文化財保護に関する諸団体への情報提供により、諸団体の自主的活動を助長している。	引く続き、子どもを対象とした伝統文化の育成を積極的に行う団体を支援する。地域の文化財を愛護する団体を支援する。

《実績評価》
(1) 基本計画指標の達成度 ・単年度の目標値は達成。「歴史文化に触れた人数」「芸術文化に触れた人数」とも積極的に広報を行い、イベントへの参加者は増となった。目標値を達成したため、新たな数値を設定する。
(2) 「目的を達成するための具体的な方策」の達成度 【01歴史、芸術文化に触れる機会の創出】 杵太郎記念館のこまめな展示や文化財センターの広報など、利用者の増を積極的に展開した。静岡県民俗芸能フェスティバルの誘致など、市民が文化に触れる機会を増やした。 【02歴史文化情報の発信】 インターネットを通しての情報は減少傾向であり、今後の工夫が必要である。 【03歴史、芸術文化に触れる機会の創出】 伝統文化を次世代に伝える事業を実施する団体を積極的に支援し、市民が文化に触れる機会を創出した。

方策コード		手段（4桁コード）内容	管理指標	実績 (H23年度末)	目標	期限	《平成24年度の改善のポイントや重点方向等》
2桁	4桁						
01		歴史、芸術文化に触れる機会の創出					<ul style="list-style-type: none"> ・「市芸術祭の開催」は、目標値を達成したため、新たな数値を設定した。 ・市民に地域の歴史・文化に興味を持ってもらうため、出前授業や講座を積極的に行っていく。 ・芸術祭に参加することにより、サークル間の交流が進むよう支援していく。 ・地域の文化財愛護に努める団体を支援していく。 ・インターネットHPを充実させていく。
	0101	市内文化施設の入場者数	木下奎太郎記念館、文化財管理センター入館者数、観光会館文化事業入場者数	12,611人	15,600人	27年度	
	0102	市芸術祭の開催	出品者数、参加者数、観客数	13,812人	14,200人	27年度	
	0103	演奏会、展示会等の文化イベントの誘致	誘致件数	1件	2件	27年度	
	0104	文化に触れる事業の開催	拓本コンクール出品者数	43点	60点	27年度	
	0105	文化財等に関する講座・教室の開催	参加者数	88人	250人	27年度	
02		歴史文化情報の発信					
	0201	伊東市史編さん資料の公開	講座、講演会参加者数	400人	850人	27年度	
	0202	文化財保護啓発イベントの実施	イベント件数	1件	2件	27年度	
	0203	インターネットによる文化情報の発信	アクセス数	2,560回	4,000回	27年度	
03		芸術文化活動の支援					
	0301	伊豆美術祭への支援	出品者数、入場者数	468点、1,748人	550点、2,000人	27年度	
	0302	文化育成への支援	伝統文化子ども育成支援数	2件	5件	27年度	
	0303	文化イベントへの支援	後援件数	40件	65件	27年度	
	0304	文化協会加盟団体に対する支援	後援件数	15件	15件	24年度	

政策目標	3	心豊かな人を育み、生涯にわたって学習できるまち
施策分野	7	国際交流の推進

課（係）名	市長公室課	
作成年度	平成24年度（更新日）	平成24年6月29日

目的	管理指標	実績 (H23年度末)	目標	期限	左記指標の過去の推移			
					(H21年度末)	(H22年度末)	備考	
基本計画	身近な所で異文化交流が楽しめるまちを目指します。	国際交流に関する体験や行事に参加した市民の割合	—	18.5%	27年度	—	13.5%	平成21年度実施の市民意向調査により算出されたため、平成22年度末の数値しか出ていない。
目的を達成するための具体的な方策	01 国際交流事業の推進	国際交流イベント参加者数	1,500人	1,700人	27年度	1,200人	1,500人	
	02 外国人住民の日常生活環境の支援	日本語教室受講者数	672人	800人	27年度	774人	670人	
	03 国際理解の啓発	国際交流関係講座数	3講座	6講座	27年度	4講座	4講座	

市民との協働方策	《平成23年度末時点の活動状況》		《平成24年度の改善のポイントや重点方向等》
	01 市民参加による国際交流イベントの実施	国際交流フェスタや異文化理解講座などを開催し、市民の参加を得ることができた。	友好都市締結30周年の節目を迎えるイギリス・メドウェイ市への訪問団員を広く市民からも募り、交流を深めるとともに、国際交流への関心も深めてもらう。

《実績評価》
(1) 基本計画指標の達成度
・平成23年度は4年ぶりに外国料理講座を開催するなど、市民が参加しやすい「異文化交流」を行うことで関心を持ってもらえるよう努めた。
(2) 「目的を達成するための具体的な方策」の達成度
・市内で行われる最大の国際交流イベントである国際交流フェスタは、参加者が年々増加している。
[参加者数]
H21 1,000人
H22 1,300人
H23 1,300人

方策コード		手段（4桁コード）内容	管理指標	実績 （H23年度末）	目標	期限	《平成24年度の改善のポイントや重点方向等》
2桁	4桁						
01		国際交流事業の推進					<p>・平成24年度は、イギリス・メドウェイ市との友好都市締結が8月10日で30周年の節目を迎えることから、メドウェイ市への訪問団を結成し相互交流を深める。</p>
0101	国際友好都市（イギリス・メドウェイ市、イタリア・リエティ市）との交流		交流回数	4回	6回	27年度	
0102	国際交流協会の活動の促進		国際交流協会会員数	376人、40団体	400人、45団体	27年度	
0103	国際交流フェスタの開催		入場者数	1,300人	1,500人	27年度	
02		外国人住民の日常生活環境の支援					
0201	外国人市民相談の充実		相談件数	3件	5件	27年度	
0202	日本語教室の周知と充実		受講者延べ人数	延べ672人	延べ800人	27年度	
0203	CATVによる外国人市民向け情報の英語放送		放送回数	毎日5回	前年度実績の維持	24年度	
0204	伊東市ホームページの外国語翻訳		翻訳言語数	4言語	前年度実績の維持	24年度	
03		国際理解の啓発					
0301	外国語教室の開催		開設講座数	2講座	4講座	27年度	
0302	小中学校へ国際友好都市紹介講座の派遣		派遣回数	3回	4回	27年度	
0303	異文化理解講座の開催		開催講座数	1講座	前年度実績の維持	24年度	

政策目標	3	心豊かな人を育み、生涯にわたって学習できるまち
施策分野	8	青少年の健全な育成

課（係）名	生涯学習課	
作成年度	平成24年度（更新日）	平成24年6月22日

目的	管理指標	実績 (H23年度末)	目標	期限	左記指標の過去の推移			
					(H21年度末)	(H22年度末)	備考	
基本計画	青少年が豊かな人間性、社会性を身につけ、健やかに育つまちを目指します。	あいさつ運動賛同者数	15,306人	17,100人	27年度	13,100人	14,758人	
目的を達成するための具体的な方策	01 声かけ・あいさつ運動の推進	あいさつ運動賛同者数	15,036人	17,100人	27年度	13,100人	14,758人	
	02 非行防止体制の強化	青少年補導の参加率	74.60%	80.00%	27年度	61.29%	58.98%	
	03 青少年健全育成活動の活発化	小学生ふるさと教室の参加延べ人数	320人	400人	27年度	173人	221人	
	04 次世代を担うリーダーの育成	夢チャレンジくらぶの参加延べ人数	—	150人	27年度	140人	83人	23年度は東日本大震災による事業見直しにより中止をした

市民との協働方策	《平成22年度末時点の活動状況》		《平成24年度の改善のポイントや重点方向等》
	01 地域の青少年声かけ活動の推進	あいさつ運動は、7月と11月に全市であいさつ一斉活動を実施するなど、学校や市民への浸透も進んでいるおり、23年度で目標を達成している項目もあることから、今後、管理指標を見直す等により更なる事業の展開を図る。	地域の大人が青少年に関心を持ってもらうために、声かけ・あいさつ運動の活動に対する一層の推進を図る必要がある。

《実績評価》	
(1) 基本計画指標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度も7月と11月に全市であいさつ一斉活動を実施し、学校や各団体、事業所等と連携を図り、組織的にあいさつの輪を広げることにより、街全体に明るさが生まれるとともに青少年の育成を見守った。
(2) 「目的を達成するための具体的な方策」の達成度	<ul style="list-style-type: none"> 夢チャレンジくらぶは東日本大震災による事業見直しにより、平成23年度は中止としたが、平成24年度からは事業を再開し、次世代を担うリーダー育成に努めていく。

方策コード		手段（4桁コード）内容	管理指標	実績 （H23年度末）	目標	期限	《平成24年度の改善のポイントや重点方向等》
2桁	4桁						
01 声かけ・あいさつ運動の推進							
	0101	地域におけるあいさつ運動の推進	自治会等の地域団体の賛同数	56団体	100団体	27年度	<p>・地域社会での人間関係の希薄化、家庭や地域の教育力の低下などから青少年の様々な課題や問題が生じている。</p> <p>このような状況を改善するには地域の力を向上させることで問題の解決となることから、地域住民一人一人が地域への所属感をもちより良い人間関係を構築する。この活動として地域における声かけ・あいさつ運動や非行防止を積極的に推進し、地域づくり、家庭づくりにつなげる。</p>
	0102	小・中学校におけるあいさつ運動推進	小・中学校でのあいさつ運動の実施回数	601回	700回	27年度	
	0103	あいさつ運動の広報	あいさつ瓦版・広報掲載回数	6回	12回	27年度	
	0104	あいさつ運動の啓発	あいさつ標語コンクールの提出数	5,348作品	6,000作品	27年度	
02 非行防止体制の強化							
	0201	青少年補導センターの開設による子どもたちの見守り	青少年補導への参加者数	467人	700人	27年度	
	0202	地域との連携強化	青色回転灯車両登録台数	28台	77台	27年度	
	0203	警察と連携した触法事件への対応	青少年触法事件	40件	適正処理	24年度	
	0204	有害環境浄化対策の推進	指導施設数	2施設	0施設	27年度	
03 地区青少年健全育成活動の活発化							
	0301	地域における人づくりと人材活用	学年の異なる小学生が家庭から離れ共同生活をし自立心と互いに助け合う心を育む通学合宿の設置学区数	4学区	7学区	27年度	
	0302	青少年育成活動の実施	放課後子ども教室の数	6教室	8教室	27年度	
	0303	青少年教育の推進	善行賞の表彰者数	51人	80人	27年度	
	0304	地域活動団体の推進	地域子ども会の会員数	2,200人	4,000人	27年度	
	305	青少年育成市民会議の推進	地域ぐるみの青少年健全育成活動の参加者総数	700人	900人	27年度	
04 次世代を担うリーダーの育成							
	0401	リーダー育成機会の拡大	夢チャレンジクラブの参加者数	0人	24人	27年度	
	0402	少年教育の推進	小学生ふるさと教室の参加者数	34人	50人	27年度	
	0403	年少者を指導する中高生の育成	静岡県初級・中級青少年指導者認定者数	0人	20人	27年度	
	0404	地域活動団体の支援	ボーイスカウト伊東地区・ガールスカウト49・92団の活動回数の計	96回	100回	27年度	